



名神高速道路上り線で発生したバスと車が絡む事故の現場。24日午後5時59分、滋賀県草津市で

5.25 東京新聞

観光バス追突 女性死亡

滋賀の名神 女児重体 15人重軽傷

繰り返される
バスの重大事故が
またもや発生！
▼名神高速道路（滋賀県草津市）で
観光バスが渋滞中の車列に突っ込み
女性が死亡 女児重体 15名重軽傷

二十四日午後四時二十分ごろ、滋賀県草津市笠山五の名神高速道路上り線で、中国人観光客を乗せた大型バスが渋滞中の車列に突っ込んだ。乳幼児を含む三家族十二人が乗ったワゴン車が追突されて横転、成人の女性が死亡し、小学生とみられる女児が意識不明の重体になった。他に女児二人が重傷、子ども五人と成人女性三人も軽傷を負った。玉突きで別の二台の三人が軽傷、バスの乗客二人も軽けがをした。県警は自動車運転処罰法

違反（過失傷害）の疑いで、バス運転手鈴木武容疑者（50）大阪府八尾市堤町一を現行犯逮捕した。前方不注意とみて、過失致死傷容疑に切り替えて調べる。バスのドライブレコーダーの解析も進める。現場は草津パーキングエリア近くの直線。四車線あり、新名神高速道路に乗り入れる左端の車線のみ渋滞していた。最後尾のワゴン車の前に軽乗用車、乗用車の順番で停車しており、同じ車線を走っていたバスが追突した。ワゴン車は奈良ナンバーのレンタカーという。鈴木容疑者にけがはなかった。「事故を起こしたことは間違いない」と容疑を認めている。運行会社ワールドキャビン（東京都新宿区）によると、バスは八尾市の営業所に所属。中国人観光客二十二人が乗っていた。二十四日から京都や奈良を経由して東京方面に向かう四泊五日の全行程を鈴木容疑者一人で運転する予定だった。

「一瞬の油断と判断ミス」は重大事故に直結！

油断と判断ミスを招く多くの背後要因を洗い出すことが真の再発防止策！
職場環境と労働条件を職場検証を強化し、JR東労組運動を前進させよう！